

目的別の総合評価(補足資料)

- ・複数の治水対策案
- ・複数の利水対策案
- ・複数の流水の正常な機能の維持の対策案

平成23年9月13日

国土交通省 関東地方整備局

複数の治水対策案【ダム案】

■治水対策案の概要

- ・ハッ場ダムの建設、既設ダムの再編（容量の再編、操作ルールの変更）及び遊水地の新設、並びに既設遊水地の改築に伴う機能向上により、洪水時のピーク流量を低減させるとともに、河道改修（堤防整備、河道掘削）を実施し河道の流下能力を向上させ、目標流量を計画高水位以下で安全に流下させる。

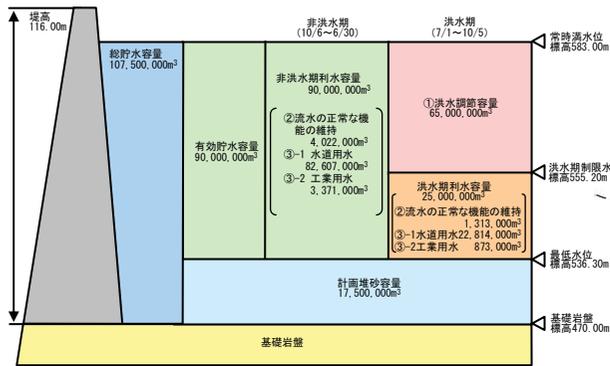
※利根川下流部の河床掘削の実施にあたっては、洪水時の河床変化などの河床の安定性について考慮する必要があるため、洪水時の水位の縦断変化、河床の土砂動態（河床波の形成）等について継続的な調査観測を実施した上で、必要な河床掘削を実施する。以下、他の治水対策案についても同様。

ハッ場ダムを含む治水対策案の主な事業内容

- 洪水調節施設
 - ハッ場ダム建設
 - 利根川上流ダム群再編
 - 鳥川堤外調節池（新設）
 - 田中調節池（改築）
 - 稲戸井調節池（掘削）
- 河道改修
 - 首都圏氾濫区域堤防強化対策築堤
 - 河道掘削 約2,800万m³
- 構造物
 - 行徳可動堰部分改築
 - 江戸川水閘門改築
 - 江戸川流頭部対策橋梁改築
- 流域対策
 - 水田等の保全
 - 森林の保全
 - 洪水の予測・情報提供

■ハッ場ダム諸元

ダム	
ダム形式	重力式コンクリートダム
堤高	約116m
堤頂長	約291m
ダム天端標高	E. L. 586m



※洪水期：梅雨時期、台風やその他豪雨等により、大きな洪水の発生が予想される期間。主に夏から秋。
非洪水期：洪水期以外の期間。



複数の治水対策案【河道掘削案】

■治水対策案の概要

- ・河道掘削を行い、河道内の水が流れる断面積を拡大させて河川水位の低下を図る。
- ・河道掘削に伴い、利根大堰等の構造物の改築等を実施する。

ハツ場ダムを含む治水対策案よりハツ場ダムを除いた主な事業内容に追加する主な事業内容

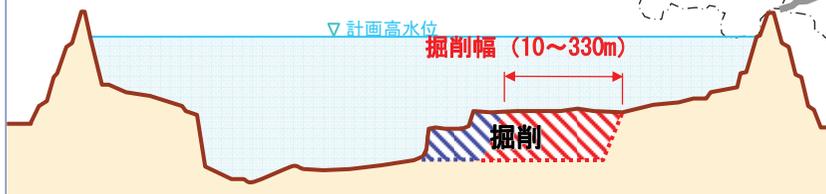
- 洪水調節施設
-
- 河道改修
 - 河道掘削 約1,300万m³
- 構造物
 - 利根大堰改築
- 流域対策
-

■状況写真



■河道掘削イメージ

- ハツ場ダム含む治水対策案
- ハツ場ダムを除いた治水対策案



複数の治水対策案【渡良瀬遊水地案】

■治水対策案の概要

- ・ 既設遊水地（渡良瀬遊水地）について、河川整備計画相当案の目標流量において最も効果的に洪水調節効果を発揮できるように越流堤を改築し、下流河川の洪水のピーク流量を低減させるとともに、河道の掘削を行い、河道内の水が流れる断面積を拡大させて河川水位の低下を図る。
- ・ 河道掘削に伴い、利根大堰等の建造物の改築等を実施する。

ハツ場ダムを含む治水対策案よりハツ場ダムを除いた主な事業内容に追加する主な事業内容

- 洪水調節施設
 - 渡良瀬遊水地（改築）
- 河道改修
 - 河道掘削 約900万m³
- 構造物
 - 利根大堰改築
- 流域対策
 -

■渡良瀬遊水地周辺状況写真



■越流堤改築イメージ



複数の治水対策案【新規遊水地案】

■治水対策案の概要

- ・ 利根川直轄区間上流部に遊水地を新設し、下流河川の洪水時のピーク流量を低減させるとともに、河道の掘削を行い、河道内の水が流れる断面積を拡大させて河川水位の低下を図る。
- ・ 遊水地の新設に伴い道路（橋梁）の付替、用地の取得、家屋及び事業所等の移転を実施する。

ハツ場ダムを含む治水対策案よりハツ場ダムを除いた主な事業内容に追加する主な事業内容

- 洪水調節施設
 - 利根川直轄区間上流部遊水地 約3.8km²
- 河道改修
 - 河道掘削 約500万m³
- 構造物
 -
- 流域対策
 -

■利根川直轄区間上流部遊水地諸元

	面積	貯水容量
右岸調節池	約1.7km ²	約670万m ³
左岸（上）調節池	約1.3km ²	約470万m ³
左岸（下）調節池	約0.8km ²	約250万m ³
合計	約3.8km ²	約1,390万m ³

■利根川直轄区間上流部遊水地



遊水地新設
(利根川直轄区間上流部遊水地)



c JAPAN SPACE IMAGING / powered by Digital Earth
 c Google™
 (承認番号 平19総使 第87号)

複数の治水対策案【流域対策案】

■治水対策案の概要

- ・利根川と御陣場川合流点において、部分的に低い堤防を存置するものであり、越流部の形状や地形等によって、洪水時のピーク流量を低減させるとともに、河道掘削を行い河道内の水が流れる断面積を拡大させて、河川の水位を低下させる。
- ・河道掘削に伴い、利根大堰等の構造物の改築等を実施する。
- ・浸水の拡大を防止するため、既存道路を活用し二線堤を整備する。
- ・部分的に低い堤防から二線堤までの地域においては、既存家屋の宅地かさ上げ・ピロティ建築化、土地利用規制を行い、浸水被害の抑制を図る。

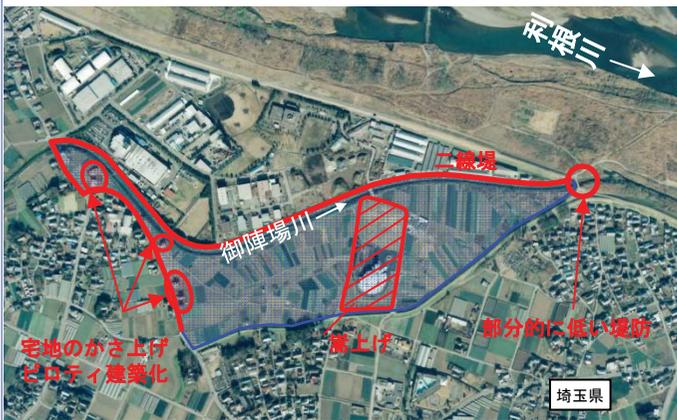
ハツ場ダムを含む治水対策案よりハツ場ダムを除いた主な事業内容に追加する主な事業内容

- 洪水調節施設
 -
- 河道改修
 - 河道掘削 約1,300万m³
- 構造物
 - 利根大堰改築
- 流域対策
 - 二線堤 約2,000m
 - 宅地のかさ上げ・ピロティ建築化 10戸

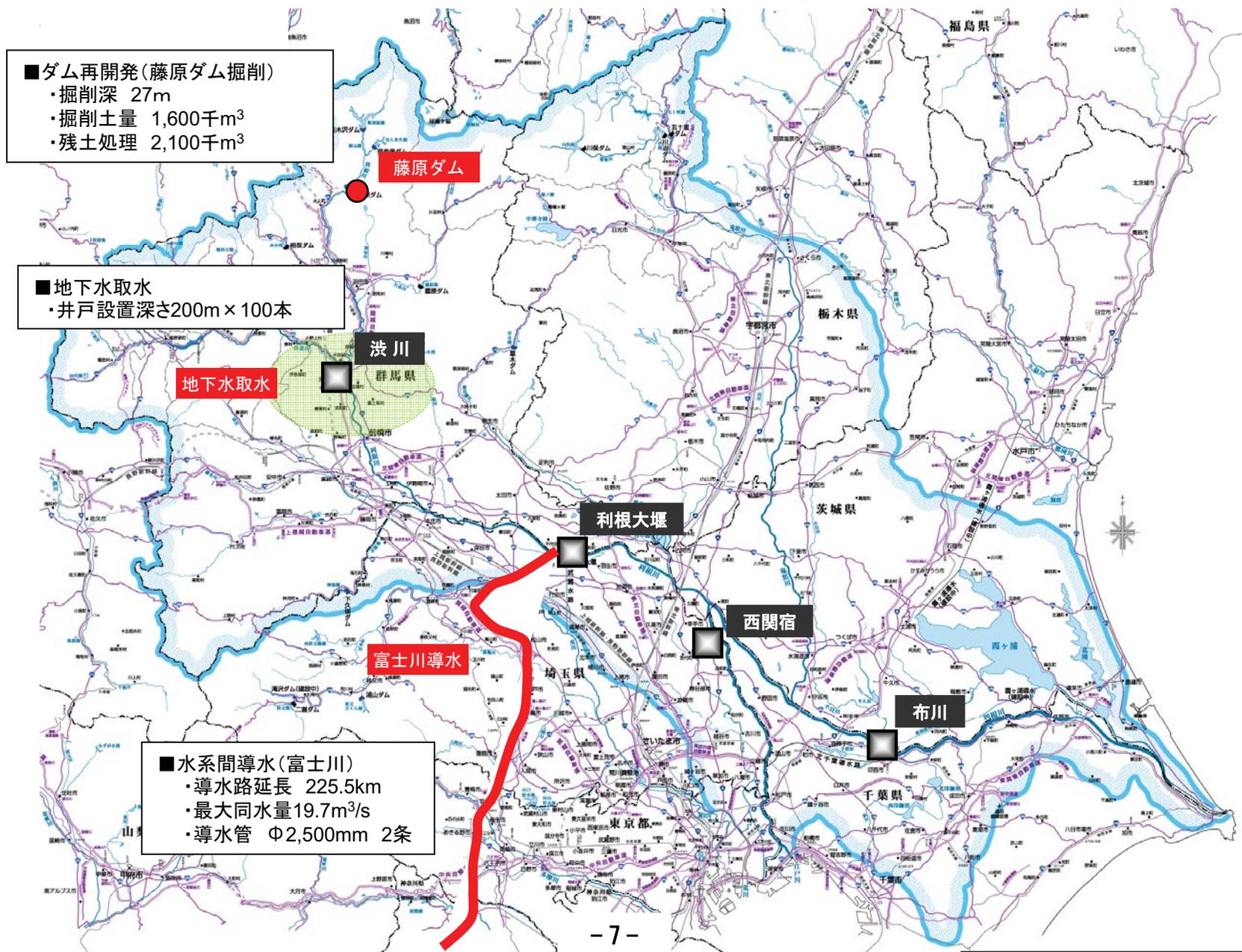
■ピロティ建築の事例（鶴見川流域）



■部分的に低い堤防と浸水範囲



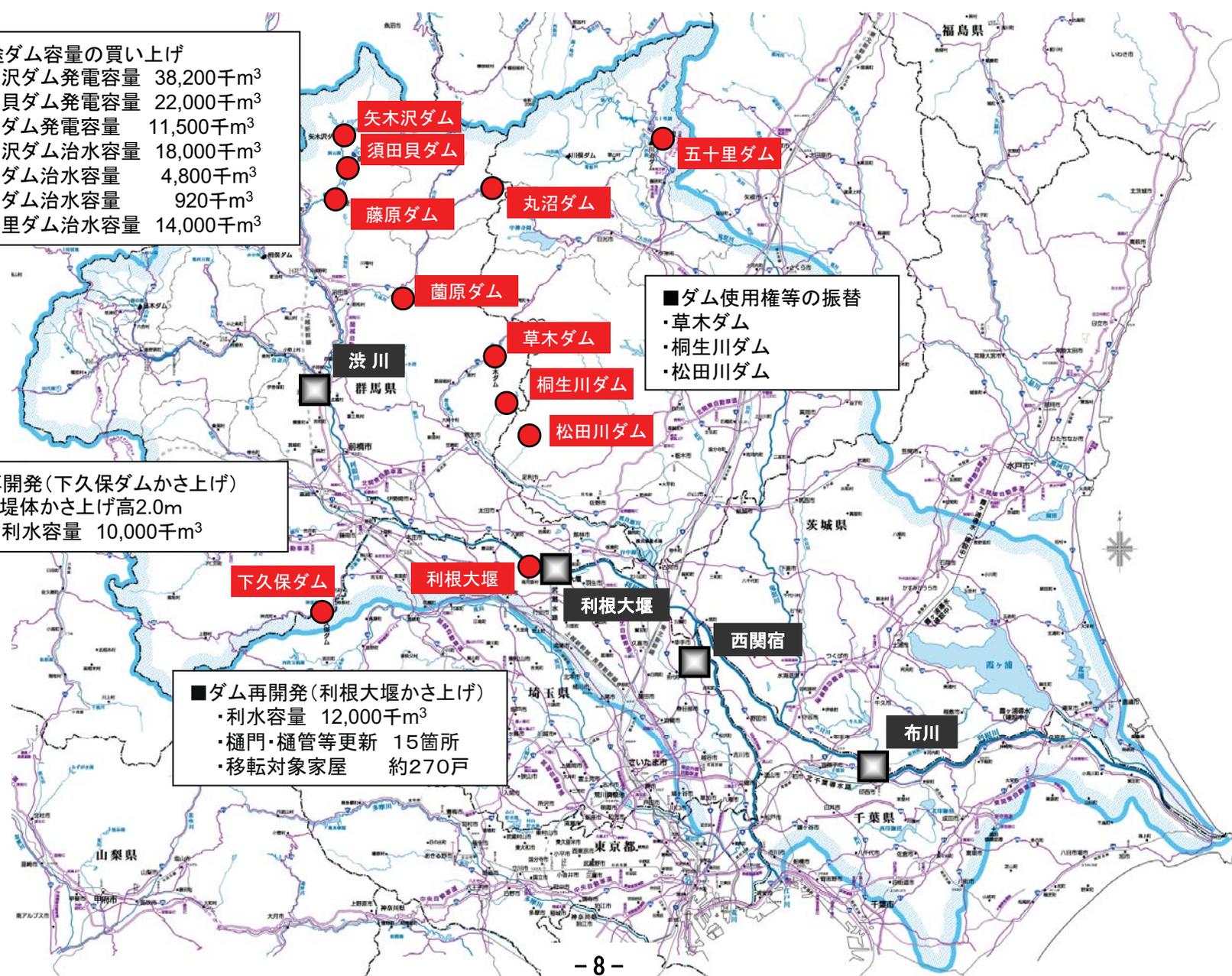
複数の利水対策案【地下水・富士川案】



※第8回幹事会資料を一部修正しております。

複数の利水対策案【大堰・下久保案】

- 他用途ダム容量の買い上げ
 - ・矢木沢ダム発電容量 38,200千m³
 - ・須田貝ダム発電容量 22,000千m³
 - ・丸沼ダム発電容量 11,500千m³
 - ・矢木沢ダム治水容量 18,000千m³
 - ・藤原ダム治水容量 4,800千m³
 - ・菌原ダム治水容量 920千m³
 - ・五十里ダム治水容量 14,000千m³



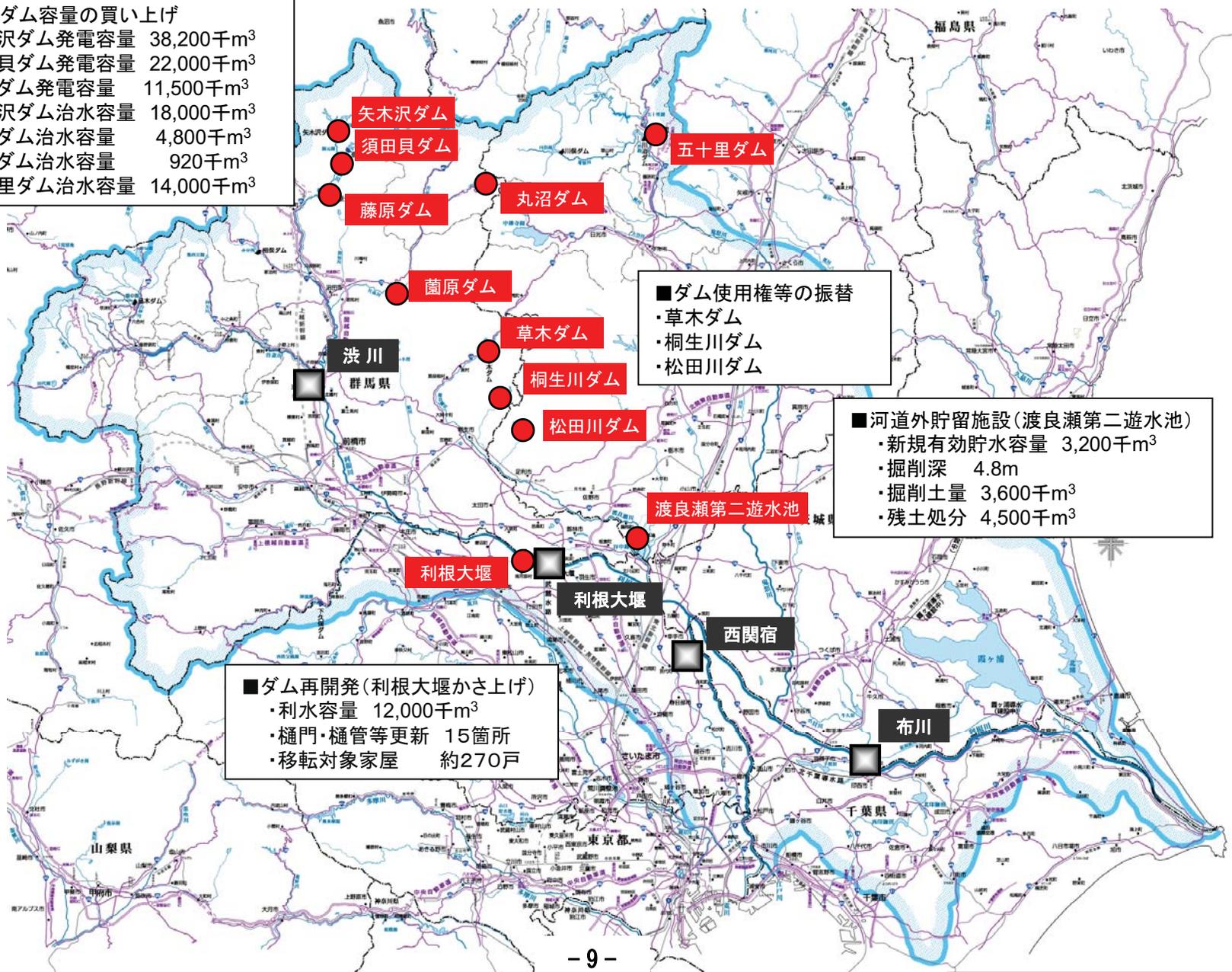
- ダム使用権等の振替
 - ・草木ダム
 - ・桐生川ダム
 - ・松田川ダム

- ダム再開発(下久保ダムかさ上げ)
 - ・ダム堤体かさ上げ高2.0m
 - ・増加利水容量 10,000千m³

- ダム再開発(利根大堰かさ上げ)
 - ・利水容量 12,000千m³
 - ・樋門・樋管等更新 15箇所
 - ・移転対象家屋 約270戸

複数の利水対策案【大堰・渡良瀬案】

- 他用途ダム容量の買い上げ
- ・矢木沢ダム発電容量 38,200千m³
 - ・須田貝ダム発電容量 22,000千m³
 - ・丸沼ダム発電容量 11,500千m³
 - ・矢木沢ダム治水容量 18,000千m³
 - ・藤原ダム治水容量 4,800千m³
 - ・菌原ダム治水容量 920千m³
 - ・五十里ダム治水容量 14,000千m³



- ダム使用権等の振替
- ・草木ダム
 - ・桐生川ダム
 - ・松田川ダム

- 河道外貯留施設(渡良瀬第二遊水池)
- ・新規有効貯水容量 3,200千m³
 - ・掘削深 4.8m
 - ・掘削土量 3,600千m³
 - ・残土処分 4,500千m³

- ダム再開発(利根大堰かさ上げ)
- ・利水容量 12,000千m³
 - ・樋門・樋管等更新 15箇所
 - ・移転対象家屋 約270戸

※第8回幹事会資料を一部修正しております。

複数の流水の正常な機能の維持の対策案【鹿沢案】

■流水の正常な機能の維持

- ・ハッ場ダムによる利水放流と他用途ダム容量の買い上げ（鹿沢ダム）により、ダム地点で維持流量2.4m³/s確保することで、吾妻川の流水の正常な機能の維持と増進を図る。

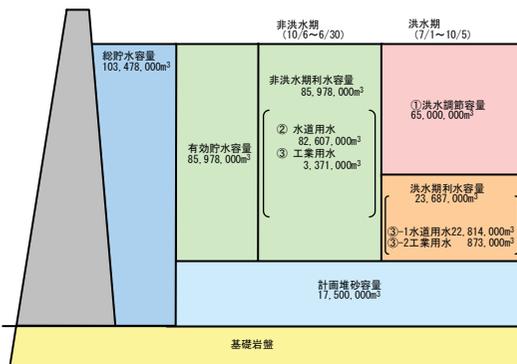
■鹿沢ダム諸元

ダム	
ダム形式	コンクリートコア型アースダム
堤高	約18m
堤頂長	約982m
管理者	東京電力（株）

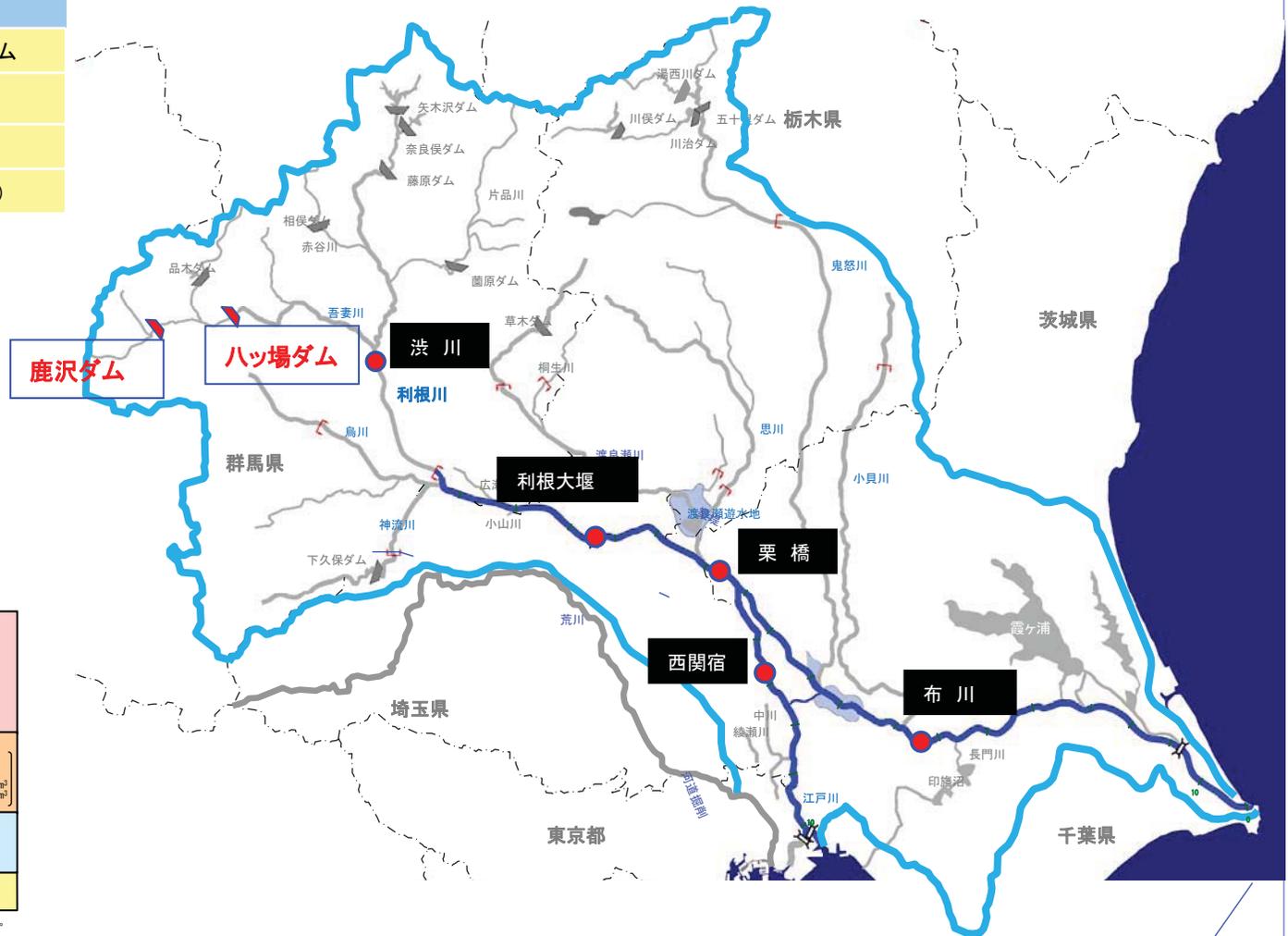
鹿沢ダム



■ハッ場ダム諸元



※洪水期：梅雨時期、台風やその他豪雨等により、大きな洪水の発生が予想される期間。主に夏から秋。
非洪水期：洪水期以外の期間。



複数の流水の正常な機能の維持の対策案【地下水案】

■流水の正常な機能の維持

- ・ハツ場ダムによる利水放流と地下水取水により、ダム地点で維持流量2.4m³/s確保することで、吾妻川の流水の正常な機能の維持と増進を図る。

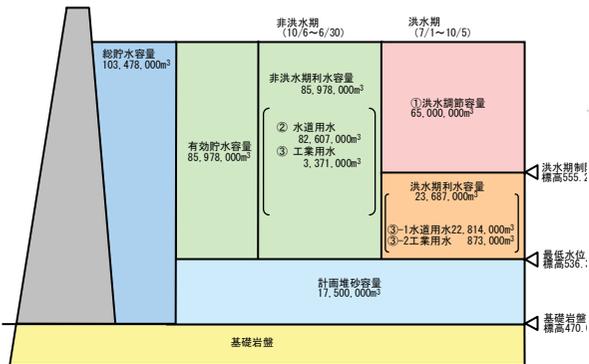
■鹿沢ダム諸元

ダム	
ダム形式	コンクリートコア型アースダム
堤高	約18m
堤頂長	約982m
管理者	東京電力（株）

鹿沢ダム



■ハツ場ダム諸元



※洪水期：梅雨時期、台風やその他豪雨等により、大きな洪水の発生が予想される期間。主に夏から秋。
非洪水期：洪水期以外の期間。



複数の流水の正常な機能の維持の対策案【ガイドライン・地下水案】

■流水の正常な機能の維持

- ・発電ガイドライン放流 (0.7m³/s) 、地下水取水によりダム地点で維持流量2.4m³/s確保することで、吾妻川の流水の正常な機能の維持と増進を図る。

